

大正琴の歴史と大正100年館

— ユニークな大正琴博物館 —

中央アルプス(木曾山脈)と南アルプス(明石山脈)の両アルプスを望み、諏訪湖から発する天竜川が南北に流れる長野県駒ヶ根市に大正琴博物館がある。

(有)日本バイオリン研究所大正琴全国普及会の創立者、北林源一郎が1997(平成9)年に駒ヶ根市に琴伝流の本社・工場を新たに建設、大正琴博物館は、その本社の一角にある。本社は、敷地面積:4,586㎡、建物面積:1,552㎡、鉄骨2階建てで、1階は事務所と「大正琴博物館」の展示スペースがあり、2階には演奏ホールがあり、大正琴のコンサートをおこなわれる施設となっている。

大正琴博物館では、「大正琴の歴史」と「大正100年館」のテーマで展示している。そのほか事務所に2008(平成20)年に製作ギネス世界記録に認定された世界一大きな大正琴(2.1m)の実物のほか、2006年にスタートした琴伝流の演奏会で年間最も演奏された曲に贈られる「大正琴音楽大賞」のサイン入り大正琴、東日本大震災で流された岩手県陸前高田市の高田松原の被災松で造った「絆大正琴」を展示している。



有限会社日本バイオリン研究所大正琴全国普及会の本社 (2023年撮影)

所在地：〒399-4117長野県駒ヶ根市赤穂14-545
 開館時間：午前10時～午後4時（入場無料）
 開館日：夏季・年末年始休業を除く平日（お問い合わせください）
 アクセス：車利用・駒ヶ岳スマートICから3分
 高速バス利用・駒ヶ根インターからタクシーで10分
 JR・駒ヶ根駅からタクシーで10分
 電話：0265-81-7500

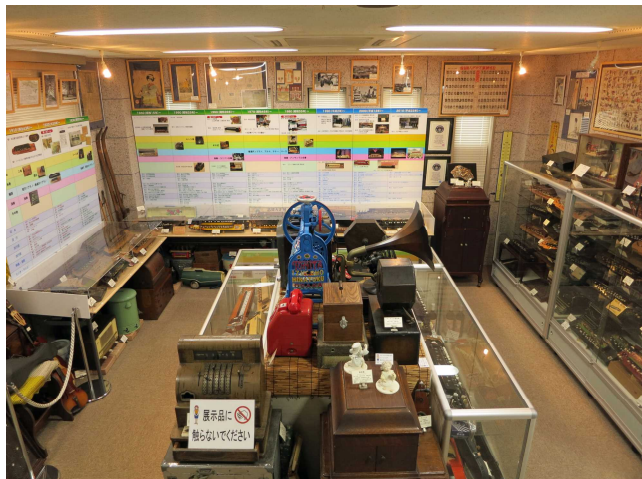
■大正100年館

大正琴が発明された大正元年から100年目となる2011(平成23)年に「大正100年館～大正琴ものがたり～」と命名してリニューアル。古い大正琴や大正琴教本だけでなく、大正から昭和にかけての音楽雑誌のほか電化製品や生活雑貨などを展示している。

■大正100年館の展示資料

- ◆森田吾郎が手掛けた名古屋木工製作所製の「大正琴」を始めとする大正時代から現代にかけての各種大正琴、天板に細工装飾を施した美しい大正琴
- ◆大正から昭和時代初期の大正琴教本や楽譜
- ◆大正から昭和初期の蓄音機やオルガンなどの楽器
- ◆大正琴誕生から昭和にかけての時代を回想できる懐かしい家庭雑貨や電化製品、その他、掛け時計、子供の玩具など約300点を展示

(寺沢安正)



大正琴の歴史と大正100年館の展示



大正100年館の展示